

八千代座は私たちが守るぞ！！



毎年1月26日は文化財防火デーです。

文化財防火デーは、昭和24年1月26日、現存する世界最古の木造建造物である法隆寺（奈良県斑鳩町）の金堂が炎上し、壁画が焼損したこと、そして1月と2月が1年のうちで最も火災が発生しやすい時期であることから、昭和30年に、当時の文化財保護委員会（現在の文化庁）と国家消防本部（現在の消防庁）が1月26日を「文化財防火デー」と決めました。

本市には、世界に誇る国指定重要文化財の「八千代座」があり、文化財防火デーを前にした1月25日、八千代座を火災などの災害から守るため、八千代座関係者及び山鹿小学校の児童が合同で消防訓練を実施し、防火意識の高揚を図りました。

